

○ 幕別町障がい者福祉計画・第3期幕別町障がい福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果及び意見に対する回答について

【意見募集結果】

実施時期	意見提出状況	意見提出方法
平成24年2月1日から2月21日まで	提出者2名、意見数2件	FAXによる提出1人、意見箱への投函1人

【意見及び回答】

区分	提出された意見	意見に対する町の考え方
日常生活用具及び補装具給付事業について	私は聴覚障害者である。私の人工内耳の体外機は早いもので8年になる。耐用年数は5年となっている。最近、故障が多くなって、修理のために東京に送って、札幌医大で音合わせをしている。 人工内耳は、医療器具になるため、重度障害であるのにもかかわらず、電池代やスピーチプロセッサ（音声処理装置）の買替え修理費等は全て自己負担になっているが、補聴器の買替え修理費等は、「補装具費」として公費助成となっている。この格差を感じざるを得ません。 障害者の負担は、平等であるべきだと思う。この矛盾と格差をなくすには、人工内耳を「補装具」に追加するか健康保険を前面適用にする方法がいい。 今、全国で助成の市町村も増えている。電池及び体外機の助成の実現を早期に願う。	聴覚障がいのある人に対して、日常生活を快適に暮らせるよう、補装具や日常生活用具の給付を実施しています。 ご意見をいただきました人工内耳の電池及び体外機の助成につきましては、個々のニーズに応じた補装具や日常生活用具の品目の拡充により、負担軽減を図っていきたいと考えています。
交流機会の場について	集まりなどでサポートする人（ボランティアとか）が増えれば、利用しやすい。 また、ただの集まりというより、1人1人合ったこと（目標みたいなのを聞き出してその人に合ったこと）をしてほしい。	現在、町内各地域で誰もが集える「サロン」などの交流機会の場を展開しています。 また、交流機会の場である「地域活動支援センター」では、利用者に合った創作的活動を実施しています。 今後、交流機会の場を拡充していき、誰もが利用しやすい場を設けていきたいと考えています。